

多言語に配慮した就活マナー・メイク講座開催

～日本で働くことを視野に。早稲田大学の外国人留学生を応援～

>>>2014.10.16

株式会社アルビオン(東京・中央区、代表取締役社長 小林章一)は、早稲田大学 早稲田キャンパス(東京・新宿区、大学総長 鎌田薫)の国際教養学部及び早稲田ビジネススクールに在籍する外国人留学生を含む学生に、就職に向けたマナーとメイクの講座を、10月22日(水)に開催します。

ここ数年、グローバル化を目指して外国人や帰国子女などの多様な背景を持つ学生の採用を増やす企業が急増している一方で、外国人留学生のなかには、リクルートスーツの着用などに見られる日本の就職活動は「独自文化の理解が難しい」と感じている人も多いためとされています。

アルビオンでは、多様な背景を持つ学生の方にも自信を持って就職活動を行なうため、日本特有の基本的なマナーや身だしなみを身につけていただくきっかけとして、マナーとメイクの講座を10月に2回にわたって開催。講師は中国国籍を持つ社員や、イギリスでの居住経験を持つ社員が担当し、自らが、日本で仕事をするにあたっての体験談をまじえてレッスン形式で実施。講座は大学様側の意向により日本語で行いますが、学生の理解度を深めるために中国語や英語でのサポートも行います。

店頭での対面による化粧品販売を行なっているアルビオンでは、美容部員の接客やマナーについて徹底した教育を行なっている経験を生かし、2011年から高校、大学などでマナーとメイクの講座を開催しています。メイクだけでなくマナーも併せてお伝えすることで、女性としてのトータルな美しさを引き出すお手伝いをする社会貢献活動の一つでもあります。



【第1回開催:10月8日の様子】

中国、韓国、アメリカなどの外国人留学生を含む30名が参加。

<マナーは“礼儀”><好印象を与えるためにも身だしなみは大切>等をお伝えし、マナーでは挨拶や笑顔、姿勢などについてレッスンしました。

また、好感を与えるメイクの時間では「ポール&ジョー」の商品を用いて、個々の肌の色に合わせたファンデーション選びや、骨格や顔立ちに合わせて足し引きしながらチーク・アイシャドウ・リップ選びなどをお伝えし、ご自分の顔にメイクを施していただきました。

参加した学生からは「きちんとした身だしなみと笑顔と挨拶を忘れずに、好印象をもたれるようにしたいです」と意欲を新たにコメントをいただきました。

